

平成21年度
石狩浜海浜植物保護センター活動報告

石狩浜海浜植物保護センター

目次

事業概要	・・・・・・・・・・	1
1．普及活動	・・・・・・・・・・	1
2．調査・研究	・・・・・・・・・・	6
3．見本園の整備・苗の育成	・・・・・・・・・・	9
4．環境整備事業	・・・・・・・・・・	10
5．来館者数	・・・・・・・・・・	12
6．保護・回復対策	・・・・・・・・・・	13
資料		
行事参加者アンケート結果	・・・・・・・・・・	15
センター利用者アンケート結果	・・・・・・・・・・	17
沿革		
海浜植物保護センター開設の目的	・・・・・・・・・・	18
施設と業務内容	・・・・・・・・・・	18
管理運営・組織図	・・・・・・・・・・	19

事業概要

石狩浜海浜植物保護センターは、将来にわたって自然豊かな海辺環境を伝えていくため、石狩浜の植生及び海浜生態系の保全を目指し、海岸利用者や市民への普及啓発、海浜生態系や海岸利用に関する調査研究、植生の保護・回復対策などに、市民、研究機関と協働で取り組んでいます。

普及啓発活動では、自然観察会や各種講座、学校等への学習指導、展示および通信誌やHP上での情報発信等に取り組んでいます。

調査研究では、海浜植生の回復方法を探るための試験、長期的な植生のモニタリング、動植物の定期観察などに取り組んでいます。

保護・回復対策では、植生保護柵の設置及び保護区における監視員の配置、また、関係機関による連絡会議を設け、石狩浜の環境保全を図っています。

その他、石狩灯台周辺の景観保全、見本園や観察路づくり等の環境整備、他地域との交流活動等に取り組んでいます。

1. 普及啓発活動

1. 自然観察会等

平成21年度は、以下のとおり実施しました。

表 1-1 平成21年度自然観察会等の開催状況

■石狩浜野鳥観察会
5月16日（土） 参加者12名 はまなすの丘を散策し、野鳥を観察。 講師：樋口 孝城さん、岩崎孝博さん（石狩鳥類研究会）
■石狩浜自然観察会
5月30日（土） 参加者10名 はまなすの丘の自然観察。 講師：若松 隆さん（自然観察指導員）
■石狩浜自然観察会
6月13日（土） 参加者5名 はまなすの丘の自然観察。 講師：内藤 華子（石狩浜海浜植物保護センター）
■石狩浜こども自然教室
7月11日（土） 参加者9名 はまなすの丘の自然観察。 講師：寒河江洋一郎さん（ふるさと自然塾）
■夏休みミニ自然教室

7月25,26日、8月1,2日、8月8,9日（いずれも土日） 参加者101名
海浜植物保護センターでクラフト遊び、見本園でのミニ観察ツアー。
指導：石狩浜自然案内人の会

■夏休みこども自然教室～ハマナスで草木染に挑戦！～

7月30日（木） 参加者11名
ハマナスの花びら、葉、根を使った草木染を楽しみながら、ハマナスに関するクイズなどを通して海辺の自然について学びました。
指導：石狩浜自然案内人の会

■夏休みこども自然教室～海浜植物図鑑を作ろう！～

8月6日（木） 参加者3名
砂丘植生の帯状構造の観察を通して、海辺の自然環境への理解を深め、夏休みの自由研究として模造紙にまとめた。
講師：藤 彰矩さん（北海道大学大学院農学院）

■石狩浜野鳥観察会

9月5日（土） 参加者20名
石狩川河口の砂浜を巡り、シギチドリ類を観察。
講師：樋口 孝城さん、岩崎 孝博さん（石狩鳥類研究会） 共催：川の博物館

■石狩浜こども自然教室

9月19日・26（土） 参加者19日：17名、26日：12名
ネイチャーゲームで石狩浜の自然について理解を深め、海岸に流れ着いた自然の素材で壁飾りなどのクラフトやハマナスの実のジャム作りを楽しみました。
講師：石狩浜自然案内人の会



石狩浜自然観察会
(5/30)



夏休みこども自然教室
ハマナスで草木染めに挑戦！
(7/30)

2. 海辺の自然塾

海浜環境に関する多角的な知識を得るための市民ボランティアのための学習会として、専門家と双方向的な情報交換ができる座談会形式の講座を、平成 21 年度より継続的に開催していきます。平成 21 年の開催状況は表 1-2 のとおりです。

表 1-2 平成 21 年度海辺の自然塾の開催状況

第 1 回 石狩浜の花と虫の関係～小さな生き物のつながりを垣間見る～
2月17日(水) 参加者 16名 講師：北海道環境科学研究センター 西川 洋子 さん
第 2 回 動く海岸線～最近の石狩浜の侵食・堆積状況～
3月20日(土) 参加者 34名 講師：北海道立地質研究所 濱田 誠一 さん

2. 展示室、企画展示

平成 21 年度は、市民による展示コーナー、DVD 鑑賞、休憩スペースを設け、また、川や沿岸海域の生物の飼育水槽を展示しました。市民による展示コーナーで開催した企画展示は表 1-3 のとおりです。

表 1-3 企画展開催状況

開催期間	タイトル
4月29日～ 7月12日	海浜植物カルタ展 2月に北海道環境教育ミーツに体験屋台として出展したものを展示。
	石狩浜ボランティア活動紹介 定期観察の会、ふるさと自然塾の活動、景観保全作業の様子を紹介。
6月10日～ 7月12日	石狩中学校海浜植物学習の記録 5月28日に行った海浜植物のスケッチや活動の様子を展示。
7月16日～ 8月18日	海辺のポスター展 市内の小学生が環境保全をテーマに描いたポスターのうち、海に関わるもの 点を展示。
8月19日～ 9月28日	ハマナスで草木染に挑戦！ 7月30日に開催した草木染教室の活動を紹介するとともに、自然の素材がもつ色の不思議と、それを暮らしに生かす楽しみ方を紹介。
9月30日～ 11月3日	石狩浜の花暦～今年の観察報告～ 定期観察の会が観察撮影した4月から10月までの花や生き物の写真展示。

4. 幼稚園、小中学校への学習指導

平成 21 年度、センターを利用した市内小学校は表 1-4 のとおりでした。

なお、小中学校が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する学習プログラムを示した「石狩浜学習のすすめ」を HP 上で配信しています。

表 1-4 幼稚園、小中学校利用状況

日にち	小学校名	人数	指導内容
5月28日(木)	石狩中学校2年	39	海浜植物の観察と記録
5月29日(金)	石狩小学校	30	館内自由見学
6月25日(木)	花川小学校4年	32	石狩市の自然
6月25日(木)	花川北陽幼稚園年長	133	命と向き合う活動「自然散策・エコロジー」1
7月3日(金)	若葉小学校3年	38	自分たちが住んでいる石狩市の特徴について知る
7月21日(火)	石狩中学校2年	40	海浜植物の観察と記録
7月24日(金)	石狩小学校1,2年	25	館内自由見学
9月9日(水)	石狩中学校2年	39	海浜植物の観察と記録
9月16日(水)	花川小学校3年	32	石狩浜の自然に理解を深める
9月16日(水)	花川北陽幼稚園年長	67	命と向き合う活動「自然散策・エコロジー」2
10月21日(水)	石狩小学校2年	13	館内自由見学
11月27日(金)	紅南小学校4年	3	海浜植物に関する聞き取り学習

5. 講師派遣事業

平成 21 年度、講師派遣の依頼を受けて指導等を行った事業は表 1-5 のとおりです。

なお、センターで行った講義等については、次の項に含めました。

表 1-5 講師派遣状況

日にち	団体名	人数	指導内容
7月16日(木)	石狩国際交流協会	19	海岸清掃
11月14日(土)	いしかり 砂丘の風資料館	26	石狩大学博物学科 石狩浜の生態系～生き物の つながり～について講義
1月22日(日)	社団法人石狩温泉 療法等障害者支援 研究会	15	はまなすの花について

6. 施設利用

平成 21 年度、センター団体利用状況を表 1-6 に示しました。

資料として、センター施設利用者の意見や感想を 17 ページに掲載しました。

表 1-6 石狩海浜植物保護センター団体利用状況

実施日程	利用団体	人数	内容
6月12日(金)	美唄ゆうゆう俳句会	8名	簡単な解説、館内自由見学
6月14日(日)	自然観察グループ	9名	簡単な解説、館内自由見学
6月28日(日)	北広島森の倶楽部	11名	館内自由見学
7月3日(金)	さっぽろ野の花の会	9名	テレビ使用、館内自由見学
7月29日(火)	深川市をみどりにする会	15名	見本園自然観察
8月14日(金)	イノパセター石狩緑苑台店チアーズクラブ	6名	館内自由見学
9月11日(金)	札幌科学技術専門学校	8名	実習
9月17日(木)	草花に親しむ会	17名	自然観察、館内自由見学
9月18日(金)	(当別スウェーデンヒルズ) 写真の会 写楽	14名	館内自由見学
10月18日(日)	千歳サケのふるさと館	31名	館内自由見学

7. 他地域との交流

海浜植物の保護活動を各地の海岸に広げていくことを目指し、海辺の自然保護活動に取り組む団体と交流を図っています。平成 21 年度は、10 月 17, 18 日に宮城県名取市でハマボウフウ交流会が開催され、当センターからメッセージを送りました。

次年度の石狩市での開催を検討しています。

8. 刊行物・HP

平成 21 年度に配布した刊行物等の配布状況は表 1-7 のとおりでした。

HP は、<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/index.htm> で配信し、行事情報、開花情報を中心に更新しました。

表 1-7 刊行物発行状況

刊行物名	内容	配布場所
通信誌「はまぼうふう」vol.30~33	浜の自然情報やセンターの行事予定などを掲載	石狩海浜植物保護センターと市内外公共施設
石狩浜自然観察 ハンドブック	石狩浜の自然について、写真、イラストなどで紹介(A5版 30 ページ、300 円で販売)	石狩海浜植物保護センターとはまなすの丘公園 ビジターセンター

パンフレット 「石狩海浜植物 保護センター」	石狩海浜植物保護センターの 施設紹介	石狩海浜植物保護センタ ーと市内外公共施設
------------------------------	-----------------------	--------------------------

9. 海浜植物種子の配布

来館者が記念に海浜植物の種子を持ち帰り、自宅の庭など身近な場所で育て親しみを持つことで、再び石狩浜を訪問するきっかけになるよう、またハマボウフウについては、センター前の砂丘に蒔いてもらうため、海浜植物の種子を植物種の解説と育て方を書いたシートとともに来館者へ配布しました。配布した種子の種類と数は、表1-8に示しました。

表 1-8 海浜植物種子配布状況

種類	配布袋数	種類	配布袋数
ハマボウフウ	1414	ハマヒルガオ	178
ハマエンドウ	345	エゾカワラナデシコ	647
ハマハタザオ	790	ハマナス	45

2. 調査・研究

平成 21 年度の主要な調査研究は、以下のとおり実施しました。

1. 石狩海岸における利用状況モニタリングと植生回復実験

1) 事業概要

平成 20 年度より 10 年間かけて、北海道大学大学院農学研究院がセンターと共同で、海浜植生域でのオフロード車等の走行が植生に及ぼす影響を明らかにするためのオフロード車等の走行量モニタリング調査と、合わせて調査区域から車両等を排除し、侵食穴に砂を埋め戻した上で防風措置を行い、植生の回復と地形変化の変遷を同様にモニタリングしていく事業に取り組んでいます。

2) 調査結果概要

通行量調査は、4 月 26 日から 11 月 8 日まで連続して行いました。1 日あたり 10 台を超える日はなく、2008 年に比べると少ないが、9 月をピークに 11 月まで利用は継続して行われていました。また、走行台数は少なかったものの、植生の回復は見られませんでした。

植生回復実験は、地形破壊がなく車両を排除しただけの試験区（車両排除試験区）では、既存植生の根茎が残されていたため、植生の回復がみられた。しかし、地形が破壊されたため砂の埋め戻しを行った試験区（地形回復試験区）では、植生の回復が見られませんでした。これは、海浜植物の根茎が破壊され消失したためで、このような箇所の植生は、車の侵入がなくても、回復に年数を要することが推察されました。

今後も引き続き、植生回復がどのように進むか推移を見ていきます。（参考：『石狩海岸における利用状況モニタリングと植生回復実験』平成 21 年の中間報告』（北海道大学大学院農学研究院 園芸緑地学分野 花卉・緑地計画学研究室）より）



2008 年 8 月、調査区設置時点
車両の走行跡が確認できる



2009 年 7 月、同地点の 1 年後
ほとんど植生に覆われた

図 1 植生回復試験地の様子（車両排除試験区）



2008 年 8 月、調査区設置時点
砂を搬入した直後の様子



2009 年 8 月、同地点の 1 年後
ほとんど回復していない

図 2 植生回復試験地の様子（地形回復試験区）

表 車両走行台数集計			
2009年	曜日	台数	天気
4月26日	Sun	4	雨
5月3日	Sun	1	晴れ
5月4日	Mon	6	晴れ
5月5日	Tue	4	晴れ
5月6日	Wed	2	晴れ
5月10日	Sun	2	晴れ
5月26日	Tue	2	晴れ
6月28日	Sun	1	晴れ
7月20日	Mon	1	晴れ
7月26日	Sun	1	曇り
8月1日	Sat	1	晴れ
8月2日	Sun	8	曇り
8月6日	Sat	1	晴れ
8月9日	Sun	5	晴れ
8月14日	Sun	2	晴れ
8月30日	Sun	3	曇り
8月13日	Sun	9	晴れ
8月14日	Mon	8	晴れ
8月17日	Tue	1	晴れ
8月22日	Tue	7	晴れ
8月23日	Wed	4	晴れ
8月27日	Sun	1	晴れ
10月3日	Sat	2	晴れ
10月4日	Sun	2	曇り
11月7日	Sat	1	晴れ
11月8日	Sun	4	曇り

2. スナジホウライタケの病原性に関する接種実験

スナジホウライタケのハマニンニクに対する病原性を調べるため、2008 年より、NPO 法人北方菌類フォーラムがセンター見本園で野外実験に取り組んでいます。2008 年の実験結果から、その病原性については明らかになりました。2009 年は、補足実験として、子実体が発生するかを調べました。結果は、子実体の発生は確認できず、寄种植物（ハマニンニク）の生育ステージとの関係などが推測されました。

本実験については、今年度の成果をもって終了です。(実験協力関係機関：独立行政法人 産業技術総合研究所、筑波大学 植物寄生菌類学研究室)

2. はまなすの丘植生メッシュの復元

はまなすの丘の植物分布状況の変遷や、各種自然情報を把握するため、石狩川河口地域植物調査（平成元年、石狩町）で用いたメッシュ図を復元しました。このメッシュ図は、石狩川河口自然情報共有マップとして、はまなすの丘で自然観察活動をする市民ボランティアらに配布して活用していきます。

3. はまなすの丘海岸線侵食状況調査

はまなすの丘海岸線の侵食状況を把握するため、10月末に、侵食により崖状になった砂丘（浜崖）の縁9箇所に杭を設置しました。杭は、砂丘の縁から内陸へ2m間隔で3本立て、月1～2回、現地踏査で杭の消失状況を確認しました。

その結果、設置から3月末までの5ヶ月間に、河口先端に近い箇所で、浜崖が10m以上侵食されたことが確認されました。今後も調査を継続して、長期的な侵食状況を把握していきます。

4. 植物開花状況等調査

石狩浜の自然情報収集のため、4月から10月までの第1,3,5水曜日、植物の開花状況及び観察される野鳥を記録しました。調査時に開花植物等の写真も撮影し、開花情報としてセンター展示室に掲示しました。

石狩浜定期観察の会を中心とした延べ86名の市民ボランティアの方々が取り組みました。

5. 自然情報の収集・まとめ

これまで発行している石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告は、表2-2のとおりで、HP上で閲覧できます。

表 2-1 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告

報告書名	号数
石狩浜における植生モニタリング区の設置と14年間の植生変化(2002年度調査)	1号
石狩川河口湿地部における植生モニタリング区設置と植生概況(2003年度調査)	2号
石狩海岸林の植生概要(2004年度調査)	3号
石狩浜定期観察による植物開花状況の記録(2004/2005)	4号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録(2006)	5号
聚富海岸の植生概況(2007年度調査)	6号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録(2007)	7号
1989年以降に記録された石狩浜の植物種リスト	8号

3. 見本園の整備・苗の育成

1. 見本園

センターの見本園は、展示施設に隣接した約 2,100m²の敷地です。約半分は自然植生ですが、石狩浜で見られるおもな植物が観察できるよう、温室で種子から育てた苗も移植しています。

平成 12 年度のオープン以来、裸地への移植を積極的に行ってきましたが、現在では、ハマニンニク、コウボウシバ、カモガヤ、ススキ、ヒメムカシヨモギ、アキグミ等の繁茂が著しく、他の海浜植物が観察しにくい状況になったため、刈り取りや掘り起こしによる除去を行っています。また、ススキやアキグミ、外来植物も増えたため、これらも積極的に除去しています。

移植した海浜植物は、数年で株が衰退してくるので、新たに育成した苗を移植しています。

温室の南側は、はまなすの丘の湿原に自生するおもな植物を観察することができるよう、湿地環境をつくり、タチギボウシやノハナショウブなどを移植しています。

平成 21 年度は、ヒメイズイ、イソスミレ、エゾスカシユリ、カセンソウ等の移植を行いました。



図 3-1 見本園概況

2. 市内公園花壇等での海浜植物栽培

センターでは、見本園や裸地化した海浜地などへの移植、市民への普及啓発のための配布、試験研究への提供を目的として、約 20 種の石狩浜自生植物の苗を作っています。これらの苗の一部は、市民が身近に海浜植物に親しめるよう、市内の公園 2 箇所の花壇に移植し、また湿生植物を紅葉山公園の池でイカダに乗せて市民の目を楽しませています。平成 21 年度、海浜植物を育てた公園は、表 3-1 のとおりです。公園花壇については、管理は地元のボランティアの方々が行っています。

表 3-1 平成 21 年市街地公園花壇への海浜植物移植状況

栽培公園	海浜植物
紅南公園 花川南公園	エソカワラナデシコ、ノコギリソウ、エソカワラマツバ、ウンラン、イソスミレ、ハマハタザオ、コガネギク、ハマボウフウ、ナミキソウ、エソスカシユリ、カセンソウ
紅葉山公園	ノハナショウブ、タチギボウシ、ナガボノシロワレモコウ、クサレダマ

4. 環境整備事業

石狩浜の自然に親しみやすい環境づくりのため、観察路の維持と外来植物の除去を行いました。

1. 親船名無沼観察路

通称親船名無沼は、平成 17 年度に行った動植物相調査により、多様な水生動植物が生息生育することがわかりました。多くの人が沼の自然に親しめるよう、道路から沼岸まで近づける歩道、観察場を整備しました。



図 4-1 通称親船名無沼の位置

2. 石狩浜海浜植物保護センター～弁天歴史公園散策路

これまで、石狩浜海浜植物保護センターから弁天歴史公園などの周辺施設へ行くには、車道を歩かなければなりませんでした。海浜植物などの自然に親しみながらのんびり散策して廻れるよう、「石狩浜海浜植物保護センター」→「弁天歴史公園」→ブロンズ像「無辜の民」→「ヴィジターセンター」を結ぶ散策路を検討しています。

これまで、石狩浜海浜植物保護



図 4-2 海浜植物保護センターから弁天歴史公園までの散策路のルート

センターから弁天歴史公園までの間に、海浜植物群落やニセアカシア林を通る散策路を整備しました。

3. 外来植物等の除去作業

はまなすの丘の木道周辺は、多くの観光客や散策者が訪れ、石狩川河口の海浜植物群落の景観を楽しむ場所ですが、ニセアカシア、カモガヤなどの外来植物及び内陸性植物のススキが増加し、景観が損なわれつつあります。景観保全のため、木道周辺の外来植物等の除去に取り組んでいます。

平成 21 年度は以下のとおり実施しましたが、除去が必要な箇所はまだ多く残っており、今後も継続していきます。

表 4-1 外来植物等の除去作業実施状況

日にち	参加者数	参加団体等
4月24日(金)	40名	石狩市緑化推進協議会、石狩浜定期観察の会、ふるさと自然塾、石狩観光協会、センター運営委員会、石狩観光協会、石狩植物愛好会 ほか
10月17日(金)	30名	

4. はまなすの丘木道延長に伴う海浜植物移植作業

平成 19 年に腐食により撤去された木道が、再度設置されることになり、工事に伴い、植生が影響を受けると思われる区域に生育しているイソスミレ等の海浜植物を近接地域に移植しました。移植作業の実施状況は表 4-2 のとおりです。

表 4-2 海浜植物移植作業実施状況

日にち	参加者数	参加団体等
11月10日(火)	16名	石狩市緑化推進協議会、石狩浜定期観察の会、ふるさと自然塾、石狩植物愛好会

5 . 来館者数

平成 21 年度の開館期間中（4 月 29 日～11 月 3 日）の来館者数は、7,826 人でした。月別来館者数は、図 5-1 に示しました。また、平成 12 年度からの来館者数の変化を図 5-2 に示しました。

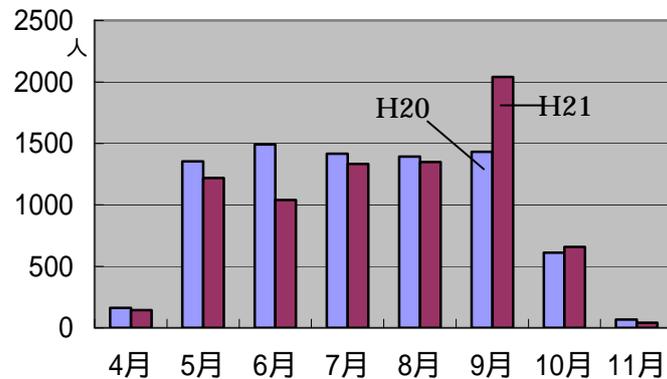


図 5-1 平成 20 年度、21 年度来館者数の季節推移

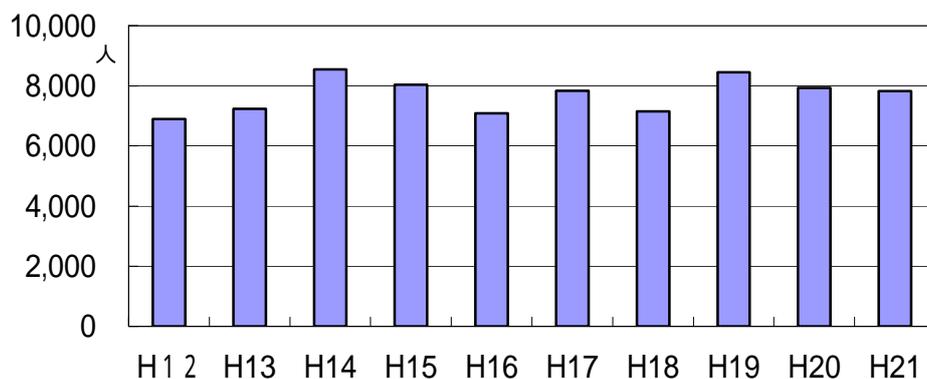


図 5-2 平成 12～20 年度の来館者数の年変化

6 . 保護・回復対策

1 . 石狩川河口海浜植物等保護地区の監視

石狩市石狩川河口海浜植物等保護条例によって定めている石狩川河口海浜植物等保護地区において、4 月から 10 月まで、監視員 2 名により、ハマボウフウなど海浜植物の採取や、バイク等の乗入れ等を防ぐための監視を行いました。

春先はハマボウフウの採取者が多く、監視による採取防止効果は大きいと思われます。また、海水浴シーズンは、キャンプ等で保護区内に進入する利用者が多く、秋にはハマナスの実を採取する人が増えるなど、季節を通じた監視をしています。

平成 18 年度からは、保護地区の看板の数を増やす、海側から保護地区への立ち入りを防ぐためのロープ柵を延長するなど、保護地区への立ち入り防止対策を強めています。

しかし、河川堤防の車両通行止め柵の脇がバギー車の侵入口となり、常習的に侵入が確認されたので、河川管理者が侵入防止柵を設置しました。

2. 車乗入れ防止柵の設置・維持管理

図 6-1 に示すとおり、石狩浜海水浴場を挟んで東西に約 1km の範囲は、平成 4 年より石狩市が車乗入れ防止柵を設置し、車走行による植生の破壊を防いでいます。しかし、ロープを切断したりかいくぐったりして侵入するサンドバギー車やモトクロスバイクが後を絶たないため、平成 21 年度は、常習的な侵入路においてはワイヤーや鋼管杭、看板設置によって侵入防止対策を強化しました。

石狩湾新港側約 3km の海岸保全区域には、北海道札幌土木現業所が、「石狩湾沿岸海岸保全基本計画」（平成 15 年、北海道）に基づき、平成 17 年より車乗り入れ防止柵を設置しています。この地域においては、サンドバギー車やモトクロスバイクの植生上への進入が頻繁に確認され、特に石狩湾新港に近い箇所から進入していることがわかっています。

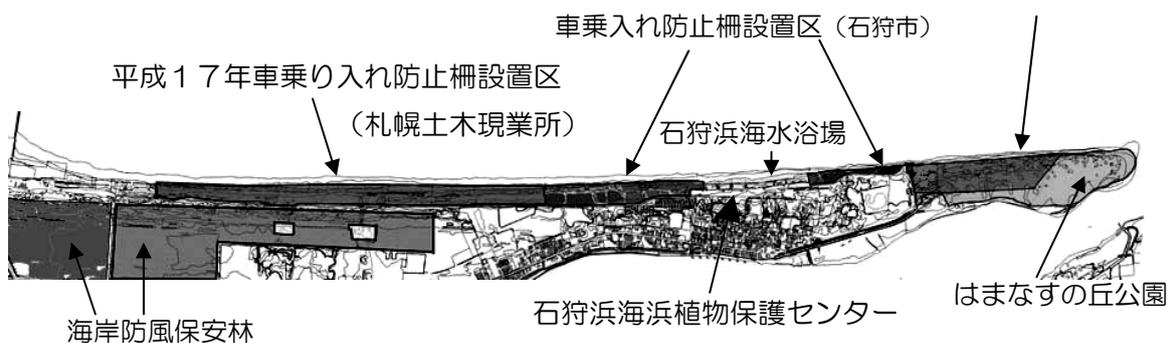


図 6-1 車乗り入れ防止柵設置区および保護区の位置

3. 石狩浜環境保全連絡会議の設置・協議

石狩湾新港から三線浜、石狩川河口（右岸地区含む）に至る、石狩浜の保全対策を検討するための関係行政機関による石狩浜環境保全連絡会議を 7 月 1 日より発足しました。会議の構成は、海岸防風保安林を所管する石狩森林管理署、海浜地のうち海岸保全区域及び一般海浜地を管理する札幌土木現業所、港湾区域を管理する石狩湾新港管理組合及び石狩市（当センター）です。

平成 21 年度は、7 月に下図の看板をバギー車の柵内への侵入口となっている箇所に 24 本設置しました。9 月には、図 6-1 に示した石狩市および札幌土木現業所で設置した柵の状況を視察するとともに、バギー車乗り入れへの対策について協議しました。

将来的には利用者、自然愛好者らも参加する組織に拡大していく方向で構成団体の意見が一致しました。



看板設置のようす



設置看板



現地視察のようす

4. 総務省行政評価局による石狩浜の海浜植物保全に関する「あっせん」

総務大臣の委嘱を受けた行政相談委員より、石狩浜の海浜植物が車の乗り入れ等により荒らされている現状に対して何らかの手段を講じて保護を進めるべきとの意見が、総務省行政評価局へ寄せられました。これを受け、総務省行政評価局は現地調査を行い、石狩浜の海浜植物保全について、表 6-1 にある「あっせん」を、平成 22 年 2 月に海岸管理者である札幌土木現業所に対して行いました。

札幌土木現業所では、「石狩浜環境保全連絡会議での協議を踏まえ、①柵の補修や看板設置等効果的な対策を講じる、②関係機関との連携による安全な海岸利用区域のすみ分けの検討と効果的な啓発活動に努める、③法令等による規制の検討等を行うこと」として、ほぼあっせんに沿った内容で、3 月、行政評価局に回答しました。

表 6-1 北海道札幌土木現業所に対するあっせん要旨

- | |
|---|
| ①車乗り入れ防止柵の点検を行い、バギー車等の乗り入れ箇所については防止柵を補強するとともに、海浜植物の保全理由を明示した車両進入禁止の注意看板を設置すること。 |
| ②関係部局及び関係機関に協力を要請するなどして、海岸の利用区域のすみ分けを行うとともに、海岸利用マナーの啓蒙活動を行うこと。 |
| ③海岸利用マナーの啓蒙活動後においても、バギー車等の乗り入れにより海浜植物の被害が認められる場合には、海岸法に基づく行為制限を検討すること。 |

資料

行事参加者アンケート結果

1. 自然観察会・野鳥観察会 (回答数 5/18 : 8、5/30 : 8、6/13 : 4、7/11 : 6)

この観察会は何で知りましたか？		どのようなことを期待して参加しましたか？	
広報いしかり	11	自然とふれあう	14
ポスター (あいボード、図書館、ビジターセンターなど)	5	動植物の生態について学ぶ	14
新聞	4	植物の名前をおぼえる	9
センターのHP	3	石狩浜について知る	10
あい風通信	4	石狩浜のガイドや学習指導に活かす	2
その他 (他団体の通信誌、メールなど)	2	絵手紙や俳句などの材料集め	3
		家族とのふれあい	1
		体を動かす	8
		その他	2
内容はいかがでしたか？		観察会のコースはいかがでしたか？	
とてもわかりやすかった	14	長い	2
わかりやすかった	9	ちょうどいい	24
ふつう	2	短い	0
わかりやすかった	0		
聞こえにくかった	2		
難しかった	0		
もっと詳しく聞きたかった	1		
もっと歩きたかった	0		
その他	1		

2. こども自然教室 (回答数 7/30 : 10、8/6 : 3、9/19,26 : 23)

楽しかったこと、よかったことは？ (7/30)		楽しかったこと、よかったことは？ (9/19,26)	
材料集め	6	宝物さがし	5 3
もようをつくる・かく	8	小さな美	1 2
材料や布を煮る	6	ネイチャーループ	5 4
布が染まったところ	7	砂浜に流れ着いたものさがし	9 4
海浜植物の学習	4	おべんとう	3 2
いろんな発見があったこと	6	ジャム作り	7 7
友だちとふれあえたこと	4	クラフト	11 6
親子でふれあえたこと	2	いろんな発見があったこと	4 1
その他	0	友だちができたこと	2 1
		親子でふれあえたこと	1 0
		その他	0 0

楽しかったこと、よかったことは？(8/6)	
砂浜での植物観察	2
植物の撮影	2
ポスター作り	2
いろいろな発見があったこと	3
いろいろな人とふれあえたこと	1
その他	0

つまらなかったこと、嫌だったことは？	7/30	8/6	9/19	9/26
ある	1	0	0	0
ない	9	3	13	9
無回答			1	

スタッフのお話はいかがでしたか？	7/30	8/6	9/19	9/26
とてもわかりやすかった	7	2	9	7
まあまあわかりやすかった	3	1	5	2
むずかしかった	0	0	0	0

石狩浜海浜植物保護センター利用者アンケート結果

(回答数 20)

どちらからおこしになりましたか		石狩浜へは年に何回来られますか	
石狩市内	4	今回が初めて	3
札幌市	12	数年に一回	4
上記2市以外の北海道内	3	年に一回	4
北海道外	1	年に複数回	9

当センターについて何で知りましたか		当センターの利用目的は？	
新聞・情報誌	1	自然学習や情報の収集	6
インターネット	1	行事への参加	1
ビジターセンターでの情報	3	観光・見学	13
看板	2	休息	3
この場所を通りかかって	9	その他(学校の実習など)	2
口コミ	1		
その他(学校、他団体の行事など)	4		

センターを利用して良いと思われた点、改善した方がよいと思われた点、感想等

- ・ 身近な海浜植物を詳しく説明されていて大変参考になりました。
- ・ 子供が楽しんでいました。
- ・ 手作りの物、ラミネートを使い、わかりやすく、足を運んで良かったと思えました。
- ・ ビジターセンターから保護センターまで歩いて来てこのような石狩浜についてのことが、わかりやすく展示されている所がありとても良かった
- ・ お茶の設置、展望台が良い。
- ・ 海浜植物見本園があって良かったです。
- ・ 植物の生態についての展示が良かった。
- ・ 動植物などアイヌ語名を説明に加えてもらえるとありがたいです。
- ・ 必要に思われない。
- ・ 季節に合わせて色々な展示をしているのが素晴らしいと思います 知らなかった花もここで知る事が出来たのも数点あります。
- ・ 展示の仕方が良くなり見やすい。
- ・ 海岸がゴミで汚い。
- ・ 気が付かずに通り過ぎていた砂浜にこんな事が有ったのだと写真で初めてしりました。
- ・ 人の来ない時期の浜が良い。
- ・ 大型 video はやく直してください。見てみたいと思います。
- ・ 夏は人、車が多くて来づらいですが、秋はいいですね
- ・ いつ来ても心の休まる風景でとても素晴らしいです。私のお気に入りの場所です。 ボランティアの方々がいつも細かく気を配って手入れされているのが良くわかります。このままの景色がいつ迄も続く事を願っています。

沿革

海浜植物保護センター開設の目的

石狩海岸地域は、北海道自然環境保全指針において「すぐれた自然地域」に抽出されるとともに、大都市近郊において、海岸砂丘生態系を色濃く残す自然海岸として、全国的にも大変貴重な場所となっています。しかし、美しい海浜植物や雄大な海浜景観は、レジャーをはじめとする過度な利用により、次第に失われつつあります。

このような状況において、豊かな海辺の自然を市民共有の財産として保全し、後世へ残して行くためには、市民、行政、研究機関とが協働して普及啓発活動や調査研究活動に取り組むことが不可欠です。石狩海浜植物保護センターは、その活動拠点として、平成12年4月に開設されました。

施設と業務内容

施設は、海浜植物の保護についての調査・研究、石狩浜保全への啓発、を目的としたもので、屋内は、大きく展示室と実験室、屋外は、温室と見本園に分かれています。

展示の方針は、来館者に海浜植物をはじめとする石狩浜の自然情報の提供や保全活動状況の紹介、作品展示などを行うことができる、更新性を備えた市民参加型の展示としています。また、展示室は研修機能を備え、フィールドと一体となった研修の場を提供しています。

見本園は、石狩浜に生育する海浜植物を一同に集め、その生態観察の場となっています。

調査研究機能としては、保全に向けた海浜植物の生態研究のために、実験室、および研究対象植物を育成するために温室が備わっています。また、見本園の一部も、調査・試験区として利用することができます。

海浜植物保護センター施設略図



以下、保護センターにおける主要業務を示します。

啓発・普及業務

展示施設・見本園の整備・更新

施設見学者への対応

市民講座・観察会等の開催

市民に対する情報提供・機関紙の発行・ホームページの管理・運営

ボランティア・各種団体・研究機関との連絡調整

調査・研究業務

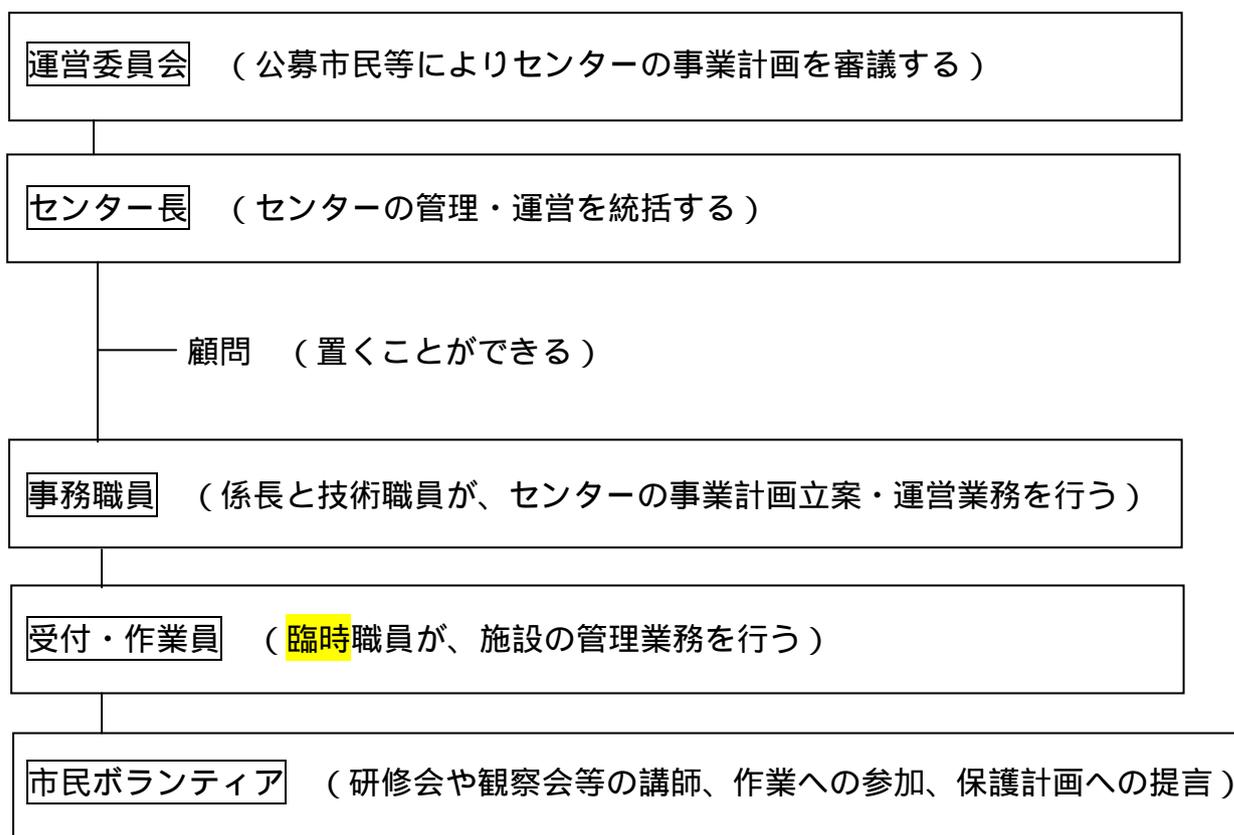
石狩浜の動植物の生息、生育状況に関する調査

海浜植物の復元と増殖に関する研究と実施

海浜植物の保護・保全計画の立案と実施

ボランティアグループの調査研究活動支援

管理運営・組織図



平成21年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告書

平成22年5月発行

発行 石狩市

編集 市民生活部石狩浜海浜植物保護センター

開館期間中 〒061-3372 石狩市弁天町48-1

tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146

冬季閉館中 〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30-2

tel.0133-72-3240 fax.0133-75-2275

E-mail ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/index.htm>